

健康増進・体質改善・病氣予防に

# 青汁は効く

主婦の友  
健康ブックス

遠藤仁郎



体験者が語る緑の血液、青汁の効用

材料はやっぱりケールがいちばん

作り方から飲み方、保存法まですべてがわかる

## 青汁とガン

アメリカの学者が行った実験にこういうのがあります。実験動物をA、Bの2グループに分け、A群には精製(加工精製)でなくなた豆ミソやミネラルを薬品で補い、現在の栄養学では完全と思われる(食事)を与え、B群には自然のままの食を与えて、それに発ガノ剤や放射線でガノのできを調べました。すると、A群にはB群よりはるかに発ガノが多くなり、しかもより早く、より強くあらわれたそうです。

これは、自然食の中にガノを防ぐ作用のある物質が含まれていることを示すものです。

また、腸管の中に発ガノ物質を分解する酵素があるそうですが、その作用はあぶらな科の野菜を与えられるとぐんと強められ、特にキヤベツが強方に影響するというのです。とすると、キヤベツの原種であるケールにも、当然同じことが言えるでしょう。

なお、京大泌尿器科吉田教授は、ホヌミの餌に青汁(乾燥粉末)を加え、ガノの発生率が低く、癌気の軽いことを、実験的に証明されています。

さらに、青汁で手術の経過がよく回復の早いこと、抗ガノ剤や放射線で起きやすいやっかいな副作用が軽くなり、十分の治療が受けられること、また、再発必至と言われていたのが、大量の青汁飲用で10年も20年も元気に生きているなど、奇跡的効果が見られています。

飲めさせずれば、ともかく、熱心に、少なくとも一日5〜6合(500〜600cc。もとの葉っぱ1.5kg)以上(多いほどよい)つづけてみるべきです。